

学生担当者報 11

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 中山祥吉 編集責任者 / 東井申雄

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 465

立教 188 年
2025 年
10 月 25 日発行

お知らせ

十一月例会

期日…立教 188 年 11 月 25 日
時間…12 時 30 分受付 担当者大会終了後
会場…第二食堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

教区

・新潟 11 月 4 日 教務支庁

報告

九月例会

去る 9 月 25 日、教庁 4 階講堂において「9 月例会」を開催。出席は 36 教区、94 直属。

各地の動き

教区学生層育成者講習会

・佐賀 9 月 2 日 教務支庁

藤原親蔵委員出向

直属学生層育成者講習会

・伊野 9 月 20 日 大教会

・芦津 9 月 23 日 大教会 松森芳夫委員出向

・名古屋 9 月 23 日 大教会 山田作雄委員出向

・松森芳夫委員出向

業務記録

《立教 188 年 9 月 16 日～10 月 15 日》

9 月 19 日 学生連絡会

20 日 事務局連絡会

24 日 広報部部会

教祖百四十年祭学生おぢばがえり

大会プロジェクトチーム会議

学生部部会

25 日 委員会 例会

広報部部会

10 月 2 日 まなびばチーム会議

5 日 係員チーム会議

6 日 大学の部研究室

高校卒業生コース研究室

7 日 委員会

高校の部研究室

人材育成部部会

8 日 広報部部会

教祖百四十年祭学生おぢばがえり

大会プロジェクトチーム会議

学生連絡会

「委員会発足にあたり（9月例会挨拶）」



ただいま表統
領先生より、第
17 期学生担当委

員会委員長の任命をいただきました。
あきよ志分教会中山祥吉
です。教祖の年祭まであと 4 ヶ
月というときにこの任を頂くと
いうことは本当に恐れ多く、ま
た本当に私にそれがつとまるだ
ろうかそんな思いが募っていま
した。

しかし、思い返せば今から 26
年前、私はおぢばの天理教学生
会の委員長をさせていただいて
いました。その当時、学生担当
委員会の先生方が「にをいがけ
はこういう思いでやるんだ。
色々なことを見せていただける
んだ」また「こういう時に会長
は」とこれからその道を歩む
であろう私に、ご自身の経験を
聞かせてくださったということ

を思い出し、あの一言が、あの
出来事がなければ今の私は無い
なと思ひ返しました。これは何
とかあの時のご恩返しをせねば
いかん。更には私のこれまでの
拙い経験ではありますが、今を
歩んでいる学生に「やっぱりこ
のお道はありがたい」それを伝
えてやってくれと教祖に言われ
ているような気がして、この任
を受けさせていただきました。

私自身はそんな大した人間で
はないし、大きな力を持つてい
るわけでもありません。しかし
ここにいてくれる、委員のみな
さん、また部員・本部スタッフ・
事務局のみなさん、そして同じ
よう学生に向かい合ってくださ
っている教区・直属の先生方と
共に、今を歩んでくれているの
が、私たちができることは何な

第17期学生担当委員会

委員長 中山 祥吉

のかをしつかり考え、言動、姿
を通して、学生に感じとってもらえるように通らせていただき
たいと思っております。

今日はこうしてお集まりくだ
さいまして誠にありがとうございます。
今日から 17 期学生担当
委員会が発足いたします。精一
杯 3 年間を通らせていただき
たいと思っております。まずは教
祖百四十年祭、そして教祖百四
十年祭学生おぢばがえり大会を
しっかりと迎えていただけるよ
うに準備を進めてまいりますの
で、どうぞよろしく願ひいた
します。そしてその先にある大
きな塚へ向かって歩んでいく、
その一歩を力強く歩みだせるよ
うに頑張らせていただきたいと
思っておりますので、どうぞよ
ろしく願ひいたします。

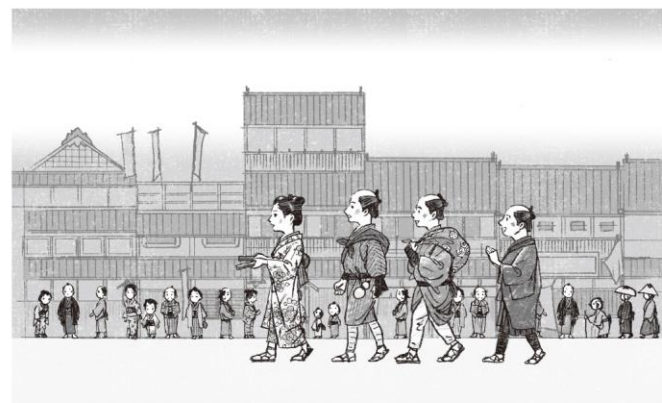
令和 7 年 学生担当委員会 活動方針
「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」



おやさまを
求めて

本部員 中山正直

Happistにて毎月更新中
(全36回)



第17期 学生担当委員会 委員

■総務 委員長 中山 祥吉 あきよし志・本部准員		副委員長 越智 久輝 愛蔵		副委員長 東井 申雄 教会本部・准員	
■庶務会計部 部長 事務局長 春野 三千彦 大和御幸・本部青年		委員 高井 義誠 大和天誠・本部青年		委員 永井 崇教 東本・本永須賀	
■担当者活動部 部長 飯降 好助 豊路・本部准員		委員 西川 寿一 泉・賑町		委員 坂本 輝男 繁藤	
■広報部 委員 中臺 邦江 日本橋		委員 岡崎 ひさの 玉島		委員 宗岡 真雄 教会本部・青年	
■学生部 部長 岩井 大輔 櫻井・伊都		委員 高岡 芳夫 松森 内子		委員 八木 治明 横山	
■学生生徒修養会部 部長 幸田 真生 網島・播河		委員 佐村 陽一 日野・三足富士		委員 藤原 親蔵 神崎	
■人材育成部 部長 清水 学 東・同慶		委員 坂内 明人 府内		委員 西宮 修策 西作田	
委員 速水 宗継 教会本部・青年		委員 内田 孝雄 朝倉		委員 愛知 一也 児玉・中京	

学生担当者報

本日、第16期委員会
の任期を終えさせてい
ただくに当たり、委員
会を代表し、一言御礼
のご挨拶を申し上げます。

今期3年間を振り返って思いますこ
とは、とにかく「楽しかったな」とい
う一言に尽きるように思います。

もちろん、今期がスタートした3年
前は、アフターコロナの立て直しが求
められる時期でしたし、コロナ禍によ
って社会も、教内も大きな変化があり
ましたので、いろいろと難しい問題も
ありました。また、苦しい場面もあり
ましたが、「せっかくやるなら、少しで
も良くしたい」あるいは、「どうせやる
なら、お道の役に立つことがしたい」
そんな思いを持って、委員会の皆と談
じ合い、力を合わせて、様々なことに
取り組み乗り越えてきた、そんな3年



『任期を終えて、9月例会時の挨拶』 第16期学生担当委員会 委員長 清水 慶政

間でありました。

新たな挑戦のような取り組みも少
なくなかったように思います。けれど
も、副委員長をはじめ、前向きな素晴
らしい委員会のメンバーに恵まれて、
さらには、事務局の皆の献身的なサポ
ートのお蔭で、私としては「やるべき
ことは全てやった」「思い残すことは
何もない」と胸を張れるような3年間
とすることができました。

とはいえ、おそらく、表統領先生や
教区・直属学生担当委員会の先生方か
らすれば、至らぬ点や足らない所が
多々あったことだろうと思います。お
詫びしなければならぬ部分もあつ
たかもしれないですが、いつも温かい御
心でお見守りいただき、お力添えを頂
いたお蔭で、悔いなく無事に任期を全
うすることができましたし、このご用
を通して多くのことを学ばせていた

いただきました。今後も、この経験を生か
して、引き続き若年層の育成、あるい
は人材の育成の上に努めてまいりたい
と思います。

さて、来年1月には、いよいよ教祖
百四十年祭の当日を迎えさせていただきます。
そして、3月28日には、10年
に一度の「教祖百四十年祭 学生おぢ
ばがえり大会」が開催されます。

私は立場が変わり、主催する側では
なくなりますが、この大会の成功を心
よりお祈り申し上げ、心より楽しみに
しております。あとは何卒よろしくお
願いいたします。

最後に、改めて、表統領先生、
担当常話先生をはじめ、教区・直属の
担当委員の先生方、さらには、第16期
の部員・本部スタッフの仲間たち、そ
して、事務局の仲間たち、お世話にな
った全ての皆様に厚く御礼を申し上げ、
退任のご挨拶とさせていただきます。
3年間、本当にありがとうございました。

学生担当者大会のご案内

日々は学生層育成の上にご丹精いただき、誠にありがとうございます。

さて、来る 11 月 25 日、「学生担当者大会」を下記の通り開催いたします。
学生層育成に携わる者が、教祖 140 年祭の年祭活動を最後までつとめきるのは
もちろんのこと、来年 3 月 28 日の「教祖 140 年祭 学生おぢばがえり大会」に
全教区・直属から一人でも多くの学生が参加できるよう取り組むことを誓い合
う場にしたいと存じます。

つきましては、教務ご多忙の折とは存じますが、教区・直属の担当委員長、
委員をはじめ、日頃から学生層育成に携わる方々に広くお声がけいただき、万
障繰り合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日 時	11 月 25 日(火) 13:00 開始 (受付 12:30～)
会 場	第二食堂
対 象	教区・直属学生担当委員長、委員、支部担当者、 学生層育成に携わる者
内 容	表統領 中田善亮先生お話 委員長挨拶 等 引き続き、11 月例会

道の学生ひのきしんDAY 開催報告

9月14日、「みんなで心明るく陽気な姿で勇もう！」をスローガンに「道の学生ひのきしんDAY」が25教区41会場（実施計画書に基づく）にて開催されました。

おやさと会場では、教会本部の境内地周辺を会場に34名（参加者22名、スタッフ12名）の学生が参加しました。まずレクリエーションを通して参加者同士で仲を深め、外では除草ひのきしん、殿内では回廊拭きや棧拭き、溝堀りひのきしんを行いました。帰参される方々に喜んでもらおうと、仲間と共に汗を流しながら、ひのきしんをする喜びを味わいました。また、ひのきしん後には神殿で一手一つに心を揃えておつとめをつとめ、日々身体をお借りしていることやその身体で勇んでひのきしんできたことを親神様、教祖にお礼申し上げました。

おやさと会場ならではのプログラムを通して、信仰の喜びをたっぷり感じた1日となりました。

「立教百八十八年 秋期直属学生リーダー講習会」開催報告

天理教学生会では、10月4日、5日の2日間に渡り、第2母屋を会場に「立教百八十八年 秋期直属学生リーダー講習会」を開催し、総勢90名の学生が参加しました。（直属35団体52名、スタッフ38名）1日目は、初めに全体でのウォーミングアップや班ごとに自己紹介を行い、自身の所属する教会や直属教会について紹介しました。そして、教会につながるために何ができるのか意見交換をしました。その後、それぞれの直属学生活動を振り返り、今後どのような活動をしていきたいかを話し合いました。さらに、「道の学生教会につながるDAY」について話し合い、各教会でどのようなプログラムができるか団体ごとに考えました。

2日目には、教祖百四十年祭 学生おぢがえり大会（以下、大会）に向けたプログラムが行われました。大会実行委員長の話を聞いた後、大会までどのように活動していくか計画を立てました。

そして、それぞれの活動や大会の直属アワーで活かしてもらいたいとの思いからゲーム講習会を開き、参加者は実際にゲームを楽しみながら学び、今後の活動の糧となる時間を過ごしました。さらには「直属アワー」について学び、当日のプログラムを考えたりしました。

最後に2日間全体を振り返り、大会に向けて勇んで通ることを誓い合いました。

「立教百八十八年 教区学生会リーダーの集い」開催報告

天理教学生会では、10月11日、12日の2日間に渡り、第7・8母屋を会場に「立教百八十八年 教区学生会リーダーの集い」を開催し、総勢124名の学生が参加しました。（教区29団体78名、スタッフ46名）

1日目は、初めに全体でのウォーミングアップや班ごとで自己紹介を行い、2日間をどのような気持ちで通るかを各自で決めました。その後、班付きによる説明などを通して、道の学生成人目標や天理教学生会の歴史について学びました。夜には、ブロックごとに分かれて各団体の活動を紹介し、魅力を伝え合いました。

2日目には、教祖百三十年祭の年に教区で委員長を務めた先輩からのお話を聞き、振り返りでは教祖百四十年祭 学生おぢがえり大会（以下、大会）に向けてどう活動していきたくいか意見交換をしました。その後、学年や立場によって話しかけ、抱えている悩みを打ち明けたり、今後の活動について話し合ったりしました。また、参加者同士で助け合う姿も見られました。

最後に2日間を振り返り、大会に向けて勇んで通ることを誓い合いました。

11 月開催「学生の集いまなびば」会場一覧

教区	開催日時	会場	担当者	連絡先
広島	11 月 16 日 8 時 30 分～17 時	あきよ志分教会	池田恒治	080-2905-3964

青空

学修で担当させていただく班は、カウンセラーも学生さんとも関係なくお互いが立て合いたすけ合えるように、神様のお計らいによって構成されているように思います。一見全く自分とは違うなあと思える子でも、共に時間を過ごして話を聞かせてもらう中で、どこか自分と似たようなものをもっていると感じるのです。

今年に入り、心身のバランスを崩してしまいうことがありました。夏の学修で担当した生徒さんの中に、その時の私とよく似た症状の子がいました。状況は異なりますが、その子の気持ちに心から共感できました。ふしがあったからこそ、かける言葉にも寄り添い方にもより心が込もったように思います。お見せいただくふしには意味があること、そして活かしていきけるように必ず神様が導いてくださるのだと教えていただきました。出会う人、起きて来ることを通して、神様が私をたすけようとしてくださっている、その親心に気付けるように通らせていただきます。

人材育成部本部スタッフ 小原美桜